



はつらつ 通信



Vol. 144
2017.9.1

●発行 医療法人北志会 札幌ライラック病院

●編集 はつらつ通信局

学び続ける医療の現場

全院体制で取り組む職員教育

医療専門職は、資格を得て就職した後も現場で学び続けなければならない職種の筆頭です。当院では看護部が積極的に学習会や研修を行ってきた歴史があり、4年前の病院機能評価受審をきっかけに、その学びの姿勢を職員全体に拡大する取り組みを行っています。

まず、全部署の職員で構成する教育研修委員会を機能強化。それまで看護部が主導し実務内容に即して行われていた職員教育を全院規模に広げました。医療安全や感染対策などさまざまなテーマを取り上げる毎月の研修会はもちろん、3年前からは院内研究発表会を開催し、部門別に複数のグループが自身で選んだテーマに沿って約8カ月間研究をし毎年2月に発表しています。

また、現場から指導の要望の多かった患者さまの痰の吸引については、院内独自の資格認定制度を設けて職員の技術向上を支援しています。

日々の学びで医療の質を向上

このような職員の学びは業務改善にダイレクトに結びつき、業務の効率やスピード、安全性を高め、当院の医療の質向上に大きく貢献しています。

今号では、職員教育全般の管理責任者である三上初美看護部長、看護部教育委員会責任者の八木泉代師長、教育研修委員会責任者の中村幸司経営企画室室長に院内研究発表会について聞き、併せて当院独自の「喀痰吸引実務従事者」の資格認定制度もご紹介します。



常に課題に取り組んで、目指すのはより良い医療 しくみをつくり、職員の学びを後押し



看護部内での新人研修。
看護部では介護員も含め部全体の研修会と、
病棟・外来単位の勉強会をほぼ毎月実施

院内研究発表会
座談会 業務改善につながる研究は多職種を理解する機会にも

課題に取り組む意識が 日常業務にも良い影響

中村 以前の職員研修は、看護部主任
せだつたところがありました。
三上 病院機能評価の認定を通し
て、医療安全や感染対策、接遇など
が全職員の問題だと認識してもらえ
たのが変化のきっかけでしょうかね。
八木 看護部の勉強会にソーシャル
ワーカーが加わったりと、少しずつ広
がり始めましたね。



座談会、左から、八木師長、三上看護部長、中村室長

中村 加えて、院内研究発表会もス
タートしました。研究は大変だけれ
ど、反響があったり賞をもらったりで
モチベーションが上がると、発表した
職員が話していました。
三上 陰部洗浄の洗浄剤を使い比べ
た発表を聞いた後は、皆やはり評価
の高い石けんを使いましたものね。
中村 より良いものを患者さまに提
供するために学ぼうという意識付け
にもなりました。
八木 昨年度の奨励賞を取った4病
棟の申し送り廃止は、ほ
かの病棟も採り入れるた
めに動いています。

三上 企業健診の業務手
順を効率化する外来の
発表もよかったですね。
八木 今、健診はあの提案
された手順なんですよ。
スピードアップで受診の方
にも喜ばれているよう
です。
中村 自主的にテーマを
選ぶなかで、今それぞれの
職員が自身の持ち場で課
題としていることに自然
と目が向くんですね。



教育研修委員会による医療安全研修会



教育研修委員会によるノロウイルス研修会

発表を通して深まる コミュニケーション

中村 院内研究発表会は前から部
長がしたかったことでしたね。
三上 ええ。研究発表を通して、他職
種の業務や考え方が具体的にわかる

機会なので、院内のコミュニケーション
にもプラスになるかと。
八木 確かに部署間の情報共有にも
役立っていますね。

三上 業務改善でも、相手を知ってい
れば、上から目線で一方的に指示す
ることにはならないはず。他職種・他

部署を知ることでも初めてできる話も
あると思うんです。
中村 なるほど、そうですね。院内で
最も先進的な職員教育を行っていた
看護部をお手本に、教育研修委員
会でも恒常的に課題に取り組むし
くみをつくっていききたいですね。

「喀痰吸引実務従事者」資格認定制度 資格制にして、じょうへり指導。職員にも患者さまにも安心感

口、鼻、気管から痰を吸引する喀
痰吸引は、以前まで医師と看護師な
どにしかできない医療行為でしたが、
現在は理学療法士や作業療法士、
臨床工学技士にも認められていま
す。しかし、養成校で痰吸引の実習が
行われ始めたのはごく最近のこと
であり、多くの医療機関ではまだまだ
看護師の業務となっています。
日に何度も必要な痰吸引は、行え

る職員が増えるほど患者さまに迅
速な対応が可能となります。そこで
当院では昨年10月に独自の資格認
定制度を設けました。看護師の研修
を受け、実技検定試験に合格するこ
とで従事者資格が認定される制度
です。
「学習資料も独自に用意し、実習
は10回以上行っています」と、認定制
度の実務を担う村上文美恵師長。
苦手意識のある職員には、実習回数
を増やして安全・確実にできるまで
指導し、8月末で資格認定者は7名
になりました。また、日々痰の吸引を
行っている看護師にも、手技・手順を
再確認してもらおう意味で年に1度
研修を行っています。



痰吸引を指導する村上師長

昨年11月に認定を受けた理学療
法士の川美千代科長は、排痰のリハ

ビリ中に吸引も自分でできるとにっ
こり。「時間のロスがなく、安全面
でもメリット大です」と喜んでいま
す。



「喀痰吸引実務従事者」認定
のマーク付きネームプレート
を見せる川科長

8月2日 「もの忘れ外来」開設
認知に不安を
お持ちの方のご
相談にのる認知
症の専門外来
です。完全予約
制でじっくりとお
話を伺います。
担当:山口勇雄医師
時間:月曜午後、水曜午後
※ご予約はお電話で。当院通院中の方は
外来看護師にお申し付けください。



医療法人北志会

基本理念
私たちは、地域における病院使
命を果たすうえで、「安心・信頼・
満足」を目指し、よりよい医療サー
ビス実践のため日々研鑽します。

基本方針

- 一、患者様の生命を尊重し、人間とし
ての尊厳及び権利を尊重します。
- 二、専門の医療を提供し、安心して療
養に専念できる環境を整備します。
- 三、職員は、責任と誇りをもち、日々学習し、
専門職としての使命を果たします。
- 四、職種・職域を超えたチーム医療を目指
します。

札幌ライラック病院を受診される皆様にご協力いただきたいこと

1. 心身の健康に関する情報について担当者にお伝えください。
2. 医療者の説明が不十分な時には、十分理解できるまで質問してください。
3. 治療やケアの方針を決める時には、ご遠慮なく医療者と話し合ってください。
4. 医療者と共につくった治療やケアの計画に積極的に参加してください。
5. 院内では常識的な社会人として行動してくださるようお願いいたします。
6. 札幌ライラック病院は全館禁煙です。ご理解とご協力をお願いいたします。
7. 札幌ライラック病院では、各病室に意見箱を設置しています。ご意見やご希
望がありましたら、ご遠慮なくご利用ください。

訪問看護ステーションで看護学生も学び 今年も実習生を受け入れ

看護学生必修の実習 受け入れて地域貢献

当院併設の訪問看護ステーションらいらっくでは、平成18年から毎年看護学生の在宅看護実習を受け入れていきます。今年は北海道医療大学看護福祉学部4名、北海道看護専門学校17名の全21名。時期を変えながら2〜3名ずつ受け入れ、2週間の実習を行っていただきます。



訪問看護ステーションらいらっくの浅見三七子所長

学生から刺激を受け 初心に返る機会に

「当院では地域貢献の一環として実習生の受け入れを決め、現在も継続しています。『学生さんを受け入れることは、私たちの勉強にもなります』と浅見三七子所長は語ります。

看護師が日常的に行っている小さな業務も、学生にとってはいちから勉強して覚えなくてはならないことばかり。学生らしい看護展開の組み立てや、いまどきの若者らしい感覚に触れら



ご利用者さまのお宅訪問の前に学生たちと看護内容を確認

れる実習期間は、職員たちの気持ちをリフレッシュさせ、初心に返る機会にもなっています。実習にきた学生のほとんどは病院勤務の予定で、就職した職場で訪問看護を行う機会はほぼないのが現状です。しかし、在宅で看護を必要とする方は増加しており、病院勤務の看護師にも、入院病棟での看護と在宅での看護をひとつながりで見ることでできる目が求められます。「訪問看護の実習で学んだことを生かし、退院後の生活を含めて患者さまの看護を考えてもらえれば」と浅見所長。らいらっくでの2週間が学生たちの学びに役立てるよう願っています。

札幌ライラック病院は皆様に次のような権利があることを認め尊重いたします。

1. 医療を受けるにあたって、大切な一人の人間として尊重されます。
2. 受診される方の個人情報やプライバシーが守られます。
3. 病状や病名、検査結果、受ける処置やケアの内容について十分に説明が受けられます。
4. 適切な説明のもとに受診される方の意思が尊重され、最良の治療やケアが選択できるように支援します。
5. 身体的なことだけではなく、必要に応じて社会的・心理的な事柄に関しても支援されます。
6. 療養の経過すべてにわたって、ご希望されれば複数の医師の意見を求めることができます。
7. 最善で安全な医療と必要な健康教育を受けることができます。
8. 医学研究等に参加をお願いすることがありますが、拒否することによって不利益を被ることはありません。

内科、消化器内科、整形外科、神経内科、内視鏡内科、糖尿病・代謝内科、麻酔科、リハビリテーション科

診療時間

平日 9:00~12:30 13:30~17:00

土曜 9:00~12:00 午後休診

※但し急患の方は上記に限らず随時受付いたします。

面会時間

平日 14:00~20:00

土日祝 12:00~20:00

ホームページ

<http://www.lilac.or.jp/>



医療法人 北志会
札幌ライラック病院 札幌市豊平区豊平6条8丁目2番18号
TEL(011)812-8822

送迎付き 企業健康診断

当院では、企業が定期健診や雇用時健診に利用しやすいよう、一般の健診とは別体系の料金を設定。無料送迎にも応じますので、医事課までお気軽にご相談ください。

例)胃カメラ+大腸カメラのオプション

一般料金.....15,000円
企業料金.....10,000円